

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう



山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

2016年 新年のご挨拶

山形同友会30周年記念式典のお知らせ

第4回 女性部例会

共感力で生き活きと働ける会社づくりを学び合う

山形同友会
創立30周年！
より地域に
必要な存在へ！！



2016年 新年のご挨拶

山形県中小企業家同友会

代表理事 西塔 秀幸

あけましておめでとうございます

1985年6月に山形県中小企業家同友会(以下山形同友会)が48名の会員により設立し、今年度30周年を迎え、1月21日に記念式典を催すこととなりました。

30年が経過した今、支部は山形支部・寒河江支部・さくらんぼ支部・置賜支部・庄内支部・それに新庄最上支部と、6支部で全県を網羅することができ、会員数は500名をめざすまでに増えております。

内容も各支部の例会の充実、経営指針委員会、社員共育委員会、地域活性委員会、共同求人委員会、組織委員会、女性部会、食・農部会の各委員会部会の活動が活発に行われるようになるなど、質と量ともに着実に前進してきました。これも山形同友会会員の熱心な経営努力と、同友会運動発展のご協力の賜物だと敬意を表します。

更に、よちよち歩きだった発足時の山形同友会に、多大なるご支援をいただいた中同協・宮城同友会・福島同友会をはじめとする各地同友会に感謝申し上げます。

私ごとになりますが、私は1987年12月に開業し1988年3月に山形同友会(山形支部)に入会しました。はじめて参加した例会は、私、事務局長を含め参加者がわずか4名でした。

ですが同友会理念の「同友会の三つの目的(よい会社をつくる・よい経営者になる・よい経営環境をつくる)」「自主・民主・連帯」「国民や地域と共に歩む中小企業」、それに労使見解(人を生かす経営)に惚れこんでいた私は、全くがっかりすることはありませんでした。

山形同友会設立30周年記念式典を契機に、同友会の学び合いの輪をいっそう大きく広げ、地域から期待に応えられる同友会としてさらに飛躍しようではありませんか！

山形同友会創立30周年記念式典のお知らせ

実行委員長のあいさつ



30周年記念事業
実行委員長
菅原茂秋

平素は同友会運動に深くご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

おかげさまで今年度、山形県中小企業家同友会は30周年を迎えることが出来ました。

つきましては、これまで関わっていただいた方々に感謝申し上げますとともに、山形

同友会30年の歴史を振り返り同友会理念の原点を見つめ直すことを目的とした、「創立30周年記念式典」開催のご案内を申し上げます。

記念講演では、中小企業家同友会全国協議会専務幹事の松井様より「つぶれない会社の作り方」と題しまして、2017年以降、団塊世代の高齢化とともに中小企業の廃業が比較的短い期間に30%程度あることの影響や、消費税の増税、政界経済の動向などにより、中小企業の経営環境は間違いなくその流れに翻弄されることが予測されるなかで、私たち中小企業家を取り

組むべき具体策を、全国の元気な中小企業の事例を交えてお話しさせていただきます。

また、パネルディスカッションでは、山形同友会の創立30周年にあたり、同友会運動の必要性や意義をもう一度見つめなおし、私たちの同友会フィロソフィーをあらためて学びなおすとともに、同友会全体として、これからどのようなビジョンをもって活動を展開していくのかを共有し、未来に向かって力強く歩み始めるきっかけにしていきたいと思います。

懇親会では、同友会のメンバーで結成された、「ザ・サーティーズ」のクオリティーの高いバンド演奏とともに30年の歴史を振り返りながら、これからの展望を語り合う活気あふれる場にしていきたいと思います。

年始めのなにかとご多用のことと存じますが、式典開催の趣旨をご理解いただき、大勢の会員の皆様にご参加を賜り式典を盛り上げていただければ幸いに存じます。

2016年1月21日、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

山形県中小企業家同友会創立30周年記念式典

「山形同友会設立30周年! より地域に必要な存在へ!!」

日時:2016年1月21日(木) 受付/13:30 開会/14:00

会場:ホテルメトロポリタン山形 4F霞城

山形市香澄町1-1-1 ☎023-628-1111

参加費:第1部 2,000円

第2部(祝賀パーティー) 6,000円

【第1部】

14:00~15:10 記念式典

15:10~16:20 記念講演

16:35~18:00 パネルディスカッション

【第2部】

18:20~20:30 祝賀パーティー

【記念講演】つぶれない会社の作り方 講師:中同協 専務幹事 松井清充氏

【パネルディスカッション】

コーディネーター:中同協 国吉顧問

パネリスト:中同協 鋤柄会長・中同協 松井専務幹事・山形同友会 西塔代表理事

【祝賀パーティー】山形同友会創立30周年を機に結成されたスペシャルバンド、「ザ・サーティーズ」の特別演奏

共感力で生き活きと働ける会社づくりを学び合う



女性部会では今年度「生き活きと働ける会社をつくらう」をスローガンに職場環境づくりを学び合っています。12月10日の第4回女性部例会では、「就業規則」をどう生かすかということで、事例報告とグループ討論からより実践的に考え合いました。

はじめにHair with Water ディレクター 赤塚治美氏が事例報告を行いました。

インターネットから取り出して作成した就業規則をしっかりと整備するきっかけとなったのが、昨年出席した中同協経営労働委員会でした。そこで経営指針の実践を進めるには労働環境の整備が必要で就業規則の大切さを実感したと振り返りました。

お客様優先のため、労働環境が良いとはいえない職場でした。体調不良からスタッフが辞めていく。さらには募集をしても新卒採用ができなくなり、労働環境整備の取り組みを始めました。社会保険に加入し、今年は社会保険労務士に相談しながら就業規則の整備をしています。年間休日を決めて休みが増えた分の売上をつくるのが課題でした。みんなで考え合い、8時間の就業時間の中でどう売上をつくるか意識して仕事をするように変わってきました。そして、こういう取り組みの根本は労使見解を学んだことと語りました。

続いて報告に立った(株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏は父親から引き継いだ後、家族以外の従業員も増え、小さいながらも組織経営をしていきたいと思うようになったそうです。そして、赤塚さんの「経営指

針と就業規則は両輪」という経営労働委員会の報告から就業規則を作成。「働く人にも権利があるのだからよく読んでね」と従業員に話し、みんなが手に取れるところに置きました。

どうしても家族が強くなる雰囲気もこれでうまくいくと思ったが社員が退職。その時に規則だけではなく真の働き甲斐のある職場にしていく必要を強く感じたと言います。交代制で休み営業してきたお店に週一回の定休日を設けました。するとみんなが大切なことを考え工夫して仕事をするようになり、売上も落ちませんでした。意見が出しやすい雰囲気になった今、労働時間をどうすれば短縮できるかについて話し合っています。これからみんなで働き甲斐のある職場をめざしていきたいと報告しました。

その後、「何のための就業規則か」をテーマにグループ討論が行われました。参加者からは就業規則の整備によって縛られることはないのかといった声もありました。就業規則があることで客観的に話し合いができた。労働時間短縮のために現場ベースでみんなが考え合い、仕事に工夫が生まれ、業績を下げることなく実現できたという話もありました。そして、経営者には法律を守っていく自覚が必要。就業規則は毎日働いてくれる社員を守るもの。制度を変えることが現在を変えることになる。ためらわずに少しずつステップアップしていこうと話しました。

最後に五十嵐座長が「本などを読むと理論的に学ぶことができる。男性はロジックで、女性は共感力で学ぶといわれている。今日も皆さんと共感しあい、何をすべきかが見える例会となりました」とまとめました。



うどん県へおいでおいで!
フシのふる経営を目指そう!

第46回 中小企業問題 全国研究集会 in 香川



第46回中小企業問題全国研究集会のご案内

第46回中小企業問題全国研究集会が、2月18日から19日に香川県高松市で開かれます。

一日目は「情勢・平和問題」「国際展開・第2創業・業種別戦略」「人を生かす経営の実践」「震災復興・経営環境の改善」「エネルギーシフト・企業連携」「見学」のカテゴリーで、19の分科会。二日目は「足もとに笑顔を届ける会社～奇跡を起こしたピンクの靴～」をテーマに、徳武産業(株) 代表取締役会長 十河孝男氏の記念講演が行われます。ぜひ、全国の仲間と学び合い、交流を深めましょう。

日時 2016年2月18日(木)13:00
～19日(金)12:00

会場 JRホテルクレメント高松
(メイン会場)

参加費 20,000円(宿泊費別)

※参加申込み、お問い合わせは山形同友会事務局まで
ご連絡ください。

スケジュール

1日目	2日目
12:00 受付開始	9:00 全体会開始
13:00 分科会開始	9:30 分科会報告
18:00 分科会終了	10:00 記念講演
18:45 懇親会開始	11:30 まとめ・閉会挨拶
20:30 懇親会終了	12:00 閉会

参加締切 2016年2月1日

第9回理事会報告

◆日時:2015年12月9日(水)午後2時~午後4時 ◆会場:山形ビッグウイング 402会議室 ◆議長:菅原副代表理事
◆出席者(敬称略):阿部敦、阿部秀頭、安藤昌則、伊藤誠、越前屋忍、奥山正樹、川合勝芳、小林敏郎、西塔秀幸、齋藤志直、佐藤知志、庄司薫、白鳥明美、菅原茂秋、高橋明、玉津弘之、長澤武、水沢正志、若木義寛(敬称略・順不同)事務局伊藤、矢作、高橋

■開会挨拶(西塔代表理事)

今年最後の理事会となる。率直な意見を出しあい、会員増強につなげていこう。

■報告事項

- 1)H27年度第2回山形新卒者等就職・採用応援本部会議(11/27)(玉津理事)
- 2)2015年度11月月次決算報告(矢作事務局次長)

■承認事項(入会承認) 3名入会、4名退会 12/9現在 446名

■討議事項

議題1:第27回社交について

実行委員長の阿部理事が「社交のために2日間お時間をとっていただきありがとうございます」と述べ、全国、山形同友会の参加者数を報告し、参加目標は達成しなかったが、何とか黒字になり成功だったと報告した。

各支部、委員会、理事会等から出された分科会、記念講演の感想や意見をまとめ、最後の実行委員会(12/14)で全体総括をします。

議題2:12月増強月間の取り組みについて

安藤理事が、11月理事会以降の活動とその結果について、資料をもとに報告をした。12月増強月間の取り組みについて提案があり、理事がそれぞれ1名の会員を増やすこと。新会員オリエンテーションへのゲスト参加を募っていくことを確認した。また、やめないうちをつくるために、求人、人材育成などの経営課題に応えられる専門委員会の活動を周知していくことを確認した。「同友会紹介チラシ」作成の提案があり、組織委員会費より約50,000円の予算を計上することが決定した。

議題3:30周年記念式典について

菅原実行委員長より、式典の内容の説明と各支部の参加目標(全体で150名)と参加状況(12/8現在)の報告があり、成功のために協力要請があった。

*参加集約について

- 第1次:12月8日(火)(50%) 第2次:1月8日(金)(80%)
第3次:1月15日(金)(100%)

議題4:第32回定時総会の開催について

西塔代表理事より、開催要項(案)として、4月開催を予定して

いると説明があり、実行委員会を早急に立上げ、日程、会場、記念講演を決めていくことが確認された。

・実行委員会体制について、実行委員長を中心に早急に人選し、12月中に実行委員会を開催する。

・2016年度議案書草案について、西塔代表理事が担当し、中同協1月幹事会で提案される新年度方針案を参考に原案を作成することを確認した。

議題5:事務局業務の実態と今後の課題について

西塔代表理事より、事務局業務の実態と課題について報告があり、事務局のあり方について話あわれた。

【決定事項】

- ①改善計画案が効果あるものと認められた場合、採用を検討する。
- ②支部、委員会ごとに事務局業務軽減について意見を集約し、事務局で原案を作成する。それをもとに、常任理事会で検討し理事会に提案する。

議題6:中同協分担金引き上げ提案への意見集約について

西塔代表理事より、組織別分担金の引き上げ理由と山形同友会の分担金改定額(案)が、現行年額60,000円より、240,000円にアップになることが報告された。理事会として承諾し、一般会員に理解できる資料が必要であることを意見として出すことを決定した。

議題7:会員企業の周年事業の対応について

西塔代表理事より、今後、同友会として祝電対応の提案があり、式典や祝賀会への出席等については、個別対応することを決定した。

■経営体験報告 1月理事会で行う予定。

■その他

- 1)中同協第46回全研in香川(2/18~19)について

*出席予定:後藤氏、西塔氏、菅原氏

- 2)第10回理事会日程

- 日時:1月13日(水)14:00~16:00
- 会場:ビッグウイング 401会議室

■閉会挨拶(川合相談役理事)

同友会も企業と同じで、違う意見があっても当たり前。コミュニケーションをしっかりと相互理解を深めていこう。



◎沼澤勝太郎氏

ヴィガ石油(有)
代表取締役社長
GS経営
新庄最上支部

◎秋場 秀俊氏

(株)秋場設計
代表取締役
建築設計
寒河江支部

◎後藤 浩昭氏

(株)コラボスター
代表取締役
製造業
置賜支部

支部・会員名・ 企業名・役職変更

●佐藤自動車 佐藤光司氏
⇒(株)佐藤自動車
代表取締役 に変更

同友やまがた1月号(2016年1月1日発行/通巻274号)

From Editor

★月刊「同友会やまがた」が1996年8月に発行されてから20年目になり、今回で通巻274号です。当初はワープロで作成し、各支部例会報告と翌月の行事案内が中心でした。同時に編集後記の欄を、紙面を埋めるために不定期に設けました。★会の発展ともに機関紙としての役割を担い、装いも新たに2002年6月号から印刷することになり、編集後記(FromEditor)を毎月掲載しました。手作りの時を含めて約18年間、177回書かせていただきました。★読み返すと、感動、気づき、感謝を織り交ぜながら、記事では書ききれなかったものや何とか伝えたい思いでペンを握ってきました。横浜街のストリートシンガーのぐっちゃんの「子どものくせに

と言うな!大人のくせに」の紹介から始まり、詩「動詞がつかる」(吉野弘)、「自分の感受性くらい」(茨城のりこ)の紹介や、影響を受けた方の想いが何回となく登場しました。★やはり現在顧問の赤石義博さんの紹介が多い。人間尊重の経営を訴え続け、「自主・民主・連帯」の精神の根底には人間尊重の3つの側面「個人の尊厳・生命の尊厳・人間の社会的尊重」を示し、それを求める原動力は、自分の中にある「題名のない伸縮自在の袋」の存在に気づき、膨らませていくことにあると教えていただきました。自分の新たな袋を見つけるために行動します。長い間、稚拙な文章をお読みいただきありがとうございます。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp